

農林水産分野 GHG 排出削減技術海外展開パッケージに係る 第 1 回意見交換会（畜産分野）

日時：令和 7 年 4 月 18 日（金）15：15～16：15

場所：農林水産省 6 階 技術会議委員室（ハイブリット）

参加者：別紙参照

【出席者コメント概要】

- ・ 温室効果ガス排出削減技術は社会課題に対する新しいソリューションであり、日本国内のみならず海外にも展開したいと考えているので、当パッケージに非常に期待している。
- ・ 温室効果ガスの削減に関心があり、中長期的な視野で取り組める適切なパートナーをタイムリーに見つけるのが一企業では難しいため、政府に支援してほしい。
- ・ 畜産・農業分野における温室効果ガス削減への関心を高めるべく、政府として、相手国政府に働きかけを行い、技術実装の機会拡大をはかってほしい。
- ・ 相手国政府・学術機関・実証に取り組んでいただく生産者など、複層的なステークホルダーと語り合うためのプラットフォームの場が存在しない。
- ・ 畜産分野では、JCM の方法論が無く、一から作っていかなければならないため、一企業にはハードルが高い。相手国政府との調整やガイドライン策定などの、JCM の方法論の成立支援をしてほしい。
- ・ 田畑や牛の温室効果ガス削減に注目が行き、豚に関する方法論の策定等は後回しになってしまう。牛・豚・鶏を合わせた畜産全体で、温室効果ガス削減に向けたパッケージを示してほしい。

- 各国で飼料・飼料添加物の登録・流通許可制度が多様のため、登録制度のハーモナイゼーションを支援してほしい。
- 海外でのクレジットの創出には、現地評価試験の実施が必須だが、各国との実証取組の連携支援・橋渡し、評価支援などを政府に担ってほしい。
- パッケージの公表に合わせ、政府の海外展開総合支援窓口を設置し、省庁横断的な施策の活用をサポートしてほしい。

農林水産分野 GHG 排出削減技術海外展開パッケージに係る
第 1 回意見交換会（畜産分野）出席者一覧

味の素株式会社

桜井 孝司	秘書・渉外部 渉外グループ長
若狭 絵梨	CFS 事業部 戦略推進グループ マネージャー

株式会社 Eco-Pork

荒深 慎介	取締役
青山 寛	事業開発
沼澤 祐介	研究本部 GHG チーム

株式会社エス・ディー・エス バイオテック（オンライン）

飯田 悦正	執行役員 アニマルニュートリション部長
渡邊 朋典	海外グループグループ長
岸本 優行	グループ員
西野 早紀	グループ員

農林水産省

関村 静雄	大臣官房審議官（兼畜産局）
窪田 修	国際食料情報特別分析官（兼輸出・国際局）
信夫 隆生	農林水産技術会議事務局 研究総務官